

## ■令和4年度第7回（第323回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 令和4年11月29日（火） 午後4時45分～午後5時10分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、小川副市長、教育長、都市戦略本部長、  
総務局長、財政局長、都市局長、総合政策監

【議 題】 （仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン（素案）について

### < 提案説明 >

- （仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン（素案）について、都市局から次のような説明があった。
- 本議題は、「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン（素案）」について審議をいただくものである。
- 本ビジョンは、概ね30年後の2050年のまちの姿を展望し、その実現に向けたまちづくりについて、市民や事業者、行政等の多様な主体が共有する指針として、策定するもの。
- 浦和駅周辺地区の果たすべき役割として、本地区のまちづくりの推進は、多くのまちの利用者にとって整備効果等のメリットが高く、本市が目指す将来都市像の実現に大きく寄与するといった事を整理した。また、まちの将来展望として、浦和を取り巻く社会情勢の変化から、「ひと」と「まち」はどう変わるのか、想定される価値観の変化やまちが重視すべきものについて整理した。
- 浦和の宝として、まちの歴史を踏まえ、まちの特長を、7つの分野に整理するとともに、これらのまちの特長や、市民アンケート及び有識者懇話会などで頂いた浦和のまちへの想いをまとめた。
- 浦和のまちの将来像について、3つの基本理念に基づきまちの将来像を実現することで、浦和のひとの『Well-beingの向上』を目指すこととし、まちの将来像とその3つのイメージをまとめた。
- また、将来像のコンセプトとしては、浦和のまちの特長である7つの分野に、全体をアップデートする「新技術活用（Society5.0・DX等）」と「環境・エネルギー」も含めた9つの分野とし、目指すまちの姿を設定した。
- 将来の生活シーンとして、今年度実施したワークショップでの成果を中心に整理し、将来像のコンセプトを分かりやすく表現するため、年代ごとに実現できている生活や活動を表現した。
- まちづくりの展開について、まちづくりの方針として、完成された浦和のまちを最適化に向けて再構築する「リ・デザイン」と、浦和の主役であるひとの成長を支える持

続可能な循環である「サスティナブル・サイクル」の2つを整理した。

- そして、浦和の魅力・価値を更に高める4つの展開について、展開ごとに、まちの魅力や地域資源を最大限に生かすための概ねの区域、ゾーンなどを設定し、取組みを進めることとした。
- 展開の1では、スポーツ文化振興ゾーンとして、「浦和駒場スタジアム」や「浦和総合運動公園」などのスポーツ施設と、「浦和駅」「北浦和駅」を包含するエリアを設定し、多彩なスポーツをする・観る・支える・学べる環境の整備やスポーツ施設の建替え・更新と合わせた新たな機能・価値の導入・グローバルな環境整備に取り組んでいく。また、文化芸術保全活用創造ゾーンとして、「県立近代美術館」「北浦和公園」や「うらわ美術館」「埼玉会館」「別所沼公園」を中心としたエリアを設定し、浦和絵描きなどの文化芸術資源を知る・見る・学べる・体験できる環境の整備に取り組んでいく。そして、浦和の教育・歴史文化を象徴する「高砂小学校」「中山道」を包含するエリアを歴史文化保全活用創造ゾーンとして設定し、中山道などの歴史文化資源を知る・見る・学べる・体験する環境の整備やグローバルに活躍できる力を育成する新しい時代の学びの実現に取り組んでいく。
- 展開2では、風格ある県都創造ゾーンとして、県都を象徴する「埼玉県庁」や「市役所現庁舎地」など行政施設が集積するエリアを設定し、公共施設の建替え等に合わせた都市機能の再編・適正配置や環境・エネルギーや防災機能等に配慮した施設の整備に取り組んでいく。また、駅前再構築ゾーンとして、まちの玄関口である「浦和駅」を中心としたエリアを設定し、環境・エネルギーや防災機能等に配慮した商業施設等の建替え促進や県都・都心としての防災機能の強化、また、土地の高度利用化と合わせた都市機能の複合に取り組んでいく。そして、風格あるまちなみ形成軸として、「浦和駅」と「埼玉県庁」を結ぶ風格ある通りを軸として設定し、県都・都心として賑わいや落ち着き、風格を感じるまちなみ景観の形成に取り組んでいく。
- 展開3では、都心居住、商業・商店街ゾーンとして、「浦和駅前」の商業施設や商店街、「埼玉県庁」などの行政施設が集積するエリアを設定し、歴史を感じるまち並みや界隈性あるヒューマンスケールな通りを活かした商業環境の形成と保全や浦和のひとや来街者にとって居心地の良いウォーカブル環境の創出、また浦和のひとや来街者で賑わう商店街等の活性化に取り組んでいく。また、その外側、「北浦和駅」周辺的生活利便性の高いエリアを利便性重視ライフスタイルゾーンとして、買い物や娯楽等の様々なサービスが利用しやすく、利便性に優れた居住環境の形成に取り組んでいく。そして、さらにその外側、別所沼公園や駒場緑地などを含むエリアを快適性重視ライフスタイルゾーンとして、自然を近くに感じながら、生活利便性、コミュニティなどバランスの良い高質な住環境の維持・形成に取り組んでいく。
- 展開4では、「浦和駅」「北浦和駅」から概ね500mのエリアなどのエリアをウォーカブル空間創出ゾーンとして設定し、居心地の良いウォーカブルなまちなか環境の創出や浦和のまちを快適に移動できる歩行者ネットワークの形成や自転車走行環境の形成、また、バリアフリー化の推進や主要な公共施設等における小型モビリティポートの整備に取り組んでいく。そして、そのゾーンと地域の緑地資源である「駒場緑地」「別所沼公園」を繋ぐ、通りや遊歩道を回遊ネットワークとして、地域の緑地資源を

結ぶ緑のネットワークの形成、グリーンインフラの推進や、高齢者や障害のある方など誰もが移動しやすい交通環境・サービスの提供に取り組んでいく。

- 将来像の実現に向けてとして、ビジョン策定後における、まちづくりの具体的な進め方などについて、考え方をまとめた。
- ひと中心の都市デザインの考え方として、ひと中心の視点で、デジタル技術等を効果的に活用しつつ、地域資源を生かしながら新たな創造を生み出す、「都市デザイン」により、まちづくりを進めることとした。そして、浦和のひとや企業等がまちの現状や課題を認識・共有し、同じ目標や方向性をもって共にまちづくりに取り組むために、「エリアプラットフォーム」を構築し、公民連携・市民協働によりまちづくりを進めていく。
- アクションプランの検討について、ビジョンの策定後は、まちづくりの展開1～4毎に、具体的なアクションやプロジェクト、公民の役割分担の考え方を示す「アクションプラン」の検討を進めていく。特に将来像の実現に向けて重点的に取り組むべき事業については「リーディングプロジェクト」として位置けるとともに、事業の具体化に合わせ、「総合振興計画実施計画」への位置づけを行うなど、PDCA サイクルによる計画的な事業の進捗管理に取り組む。
- 今後のスケジュールについて、12月20日から1月26日にかけてパブリックコメントを実施し、3月の策定を目指していく。

### < 意見等 >

- ・アクションプランを官民連携でやることとなるが、今後どういう形で、庁内・外部も含め動かしていくのか。
- ひと中心の都市デザインの考え方から検討に入る。都市デザインについては、プラットフォームを作る体制を検討体制として、地域住民、民間、NPO 法人などを交えて、どういったものがふさわしいデザインなのか検討に入りたいと考えている。
- 展開4のウォーカブルから道路のウォーカブルが検討に入りやすいので、都市デザインと展開4からやる。
- ・アクションプランの時間軸、いつごろ何ができるのか。当面のスケジュールのイメージはあるか。
- スケジュールはまだ決めておらず、エリアプラットフォームの中で、話し合いを進めていく形になる。ただし、庁舎の移転と跡地の利活用に間に合うように検討を進めていきたいと考えている。
- ・展開1や展開2は、小学校の建替えや再開発事業の進展もある。展開1の高砂小や展開2の現庁舎や市民会館跡地も含め、スケジュールが決まっている事業がある。これらが進むときに、都市デザインコードのようなものが示された中で、事業をやっていた方がよい。時間軸のところについて、具体事業が関連する展開は、スケジュールがクリアになっていたほうがよい。展開1や2はそういう要素が強い。展開3や4は段階的にやっていくイメージがある。
- 都市デザインは展開1から4までに大きく関わるので、重点的に早く仕上げたい。他の事業もそれぞれのプロジェクトにしていくためにスケジュール等もあるので、

それに合わせ庁内でワーキング等もやりながら、スケジュールをしっかりと固めていく。  
・浦和のまちづくりは、デザインコードやルールがあるなどこだわりを持ってやっていると、民間事業も含め、その後の展開がよいものになっていくと思う。スケジュール感、何を最優先してやっていくか、をスケジュールに落としていってほしい。個別にやってしまうとよくない。

→エリアの中にあるプロジェクトについて詳細を各局から頂き、決めていく。

・具体的なプロジェクトに落ちていくところは、実施計画の改定に入れていくという事でいいか。

→実施計画に盛り込んでいく考えである。

## < 結 果 >

(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(素案)については、原案のとおり了承とする。

ただし、以下の点に留意すること。

- ・都市デザインについて、浦和エリアにおける各事業が都市デザインコードなどに基づいて実施できるよう、早期に検討を進めること。
- ・アクションプランについて、既に見通しが立っている事業の状況なども踏まえ、スケジュールを固めていくこと。また、地域住民・民間事業者等と連携し、将来像の実現に向けて各事業が一体となって進められるよう検討体制の構築を早期に進めること。

## < 会 議 資 料 >

- ・(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(素案)について
- ・(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(素案)
- ・(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン(素案)概要版